

レベル  
★★★  
縦走登山

# シクナゲ岳からチセヌプリ、主峰アンヌプリまで 初夏の花咲く ニセコ・オートルート縦走

北海道

6月17日(水)~6月19日(金) 3日間

旅行代金 お一人様 **80,000** 円 (現地集合・解散)



シクナゲ岳山頂からシクナゲ沼と縦走路を見下ろして。その向こうには日本海から積丹半島が望めます

**【宿泊】** 五色温泉旅館または同等クラス

**【食事】** 朝0・昼0・夕1

**【最少催行人数】** 4名(最大8名)

**【1人部屋利用追加料金】** 設定なし

**【ツアーリーダー】** 宿より全行程同行

(現地登山ガイドは同行しません)

ポイント

- 1 多彩な初夏の高山植物が咲き誇るニセコ連峰の花のベストシーズン!
- 2 歩きやすい爽やかな気候、眩しい新緑、ところどころに残雪も。変化に富んだ山岳景色を快適に楽しめるのはこの時季だけ
- 3 2日間、日帰りでニセコの名だたるピークを踏む縦走コースを歩く
- 4 現地集合・解散でリーズナブルな料金のご案内



▲荒涼とした稜線を登るイワオヌプリ。  
火山活動によって形成された山で、アイヌ語で“硫黄の山”の意味をもちます

▶ニトヌプリを下ってイワオヌプリへ。  
花と新緑、森、笹原、ザレ場、湿地と登山道の景色は変化に富んでいます



年によっては雪が残る場所もあります



イワオヌプリの麓に沸く五色温泉

## ニセコオートルート縦走 3 日間 暫定行程表

日	地名	行程	食
1	6/17 (水) ニセコ山麓の宿 (五色温泉旅館)	<b>17:00</b> くらいまでにニセコ山麓の宿にご集合下さい (予定:五色温泉旅館)。ツアーリーダーは <b>16:00</b> までに到着予定です。夕食は各自となります。到着前に食べてもらえるか、購入して宿のキッチンで食べるかをお願いします。 ※五色温泉旅館宿泊の場合、別館には自炊設備があります。 【ニセコ山麓・泊】	— — —
2	6/18 (木) 新見峠 シャクナゲ岳 チセヌプリ 五色温泉(宿)	各自朝食後、 <b>7:00</b> 頃宿を出発 = <b>新見峠</b> (747m) / ここからスタート。 … <b>白樺山</b> (959m)… <b>シャクナゲ沼</b> … <b>シャクナゲ岳</b> (1,074m)… <b>ビーナスの丘</b> … <b>チセヌプリ</b> (1,134m)… <b>チセヌプリ登山口</b> = 宿 ● <b>歩程:約 5 時間</b> 【ニセコ山麓・泊】	— — 夕
3	6/19 (金) パノラマライン登山口 ニト / イワオ アンヌプリ 五色温泉(宿)	各自朝食後、 <b>7:00</b> 頃宿を出発 = <b>パノラマライン登山口</b> / ここからスタート。 … <b>ニトヌプリ</b> (1,080m)… <b>イワオヌプリ</b> (1,116m)… <b>ニセコアンヌプリ</b> (ニセコ連峰最高峰 1,308m / 五色温泉から往復約 3 時間 30 分) = 五色温泉( <b>16:00</b> 頃下山予定) ※下山後、宿にて解散。温泉入浴する方は各自にて。 ● <b>歩程:約 7 時間</b>	— — —

※交通 / = 車で移動 …徒歩で登山 ※記載の歩程は休憩を除いた実質歩行時間の目安です。天候や歩くペースによって前後します。  
 ※天候状況により行程を一部カットやコースを変更する場合があります。特に 3 日目、イワオヌプリからの下山時間が押した場合は、アンヌプリ登頂をカットする可能性がありますことをあらかじめご了承下さい。  
 ※食事は 2 日目の夕食を除いて各自となります。昼食は登山中に食べられる物を 2 日分、事前にご用意下さい (宿には売店が無く、周辺にお店もありません)。



ニトヌプリの下りからは、これから登るイワオヌプリとアンヌプリを一望 イワオヌプリ山頂から望むアンヌプリ。なかなかの登り返しです

### この時季にニセコ連峰縦走路で見られる花々(例)



サンカヨウ



ムラサキヤシオツツジ



ウコンウツギ



イソツツジ



◀ シラネアオイの道

▶ ハクサンチドリ

※開花状況は年によって前後するので、記載の花が必ず見られるとは限りません

## ニセコオートルート縦走 持ち物リスト

	品 名	数量	チェック	備 考
1	登山または 軽ハイキング用の靴	1組	○	防水性の良いゴアテックスや皮革製の軽ハイク靴など。出ればハイカットの靴で、履き慣れたものを。
2	タウンシューズ	1組	△	移動時に履く運動靴やスニーカーなど。登山靴と兼用でも可。
3	旅行かばん（小～中）	1個	○	行動中不要の荷物は宿に預けるので、かばんやスーツケースでも良い。
4	登山用ザック	1個	○	登山時に背負うザック。目安は容量 20～35ℓ程度の日帰り用。
5	雨具（上下）	1着	○	出来るだけしっかりとしたゴアテックス製の上下セパレート型が良い。ウインドブレーカー代用可。防寒着としても活用します。
6	薄手ダウン ジャケット（防寒着）	1着	○	6月中のニセコ山中はまだ朝夕と冷え込む日もあります。また雨、風が強いと稜線では寒いので、薄手のダウンジャケットやフリースジャケット等の防寒着は必ずご用意下さい。雨具を兼用しても結構です。
7	衣類（着替え）	適数	○	長袖シャツ、スラックス、下着、靴下、着替えなど。
8	帽子 （日除け用と防寒用）	1個	○	好天時、強い日差しを遮るため、つばのある帽子を。また、寒い時用に耳を覆う防寒用の帽子またはバンダナ等も合わせてご用意下さい。
9	手袋（薄手・防水用）	2個	○	薄手と雨天時のために防水手袋もご用意下さい。
10	サングラス	1個	△	好天時、強い紫外線から、目を保護する為に有ると良いでしょう。
11	水筒（テルモス）	1個	○	容量1～2ℓ程度。ペットボトルでも可。 温かい飲み物を持ちたい方はテルモス（魔法瓶）も重宝します。
12	洗面用具	適数	○	五色温泉旅館の別館に泊まる場合は、浴衣、タオル、バスタオル、歯ブラシ等をお持ち下さい。ドライヤー、シャンプー類は大浴場に付いています。 ※宿が確定後、ご参加者には改めてご案内します
13	筆記用具	適数	○	メモ帳やボールペンなど。
14	現金・クレジットカード	適数	○	クレジットカードは便利です。保管に気をつけましょう。
15	携帯電話	1個	○	緊急の連絡用に携帯して下さい。充電器も(宿で充電できます)。
16	ショート・スパッツ	1組	△	雨天時にぬかるみ対策用としてあると便利でしょう。
17	折り畳み傘	1本	△	林道や平坦な道など、差し支えの無い道では小雨の時にさしていただいてもかまいません。登山に持参するかは各自でご判断下さい。
18	日焼け止め	適数	△	強い紫外線と乾燥から肌を守るために。リップクリームも。
19	ストック	1組	△	普段、山歩きに使用している方はお持ち下さい。伸縮式が収納出来て便利です。ダブルがベストですが、1本でも良いでしょう。
20	医薬品・マスクなど	適数	△	持病用の特別な薬などがあれば各自でご用意下さい。 マスクの着用は任意です。
21	ザックカバー	1枚	○	ザックの防水用レインカバー。歩行中の急な降雨に備えて。
22	ロールペーパー 携帯トイレ	適数		縦走路には山小屋やトイレはありませんので、携帯トイレの携行をお願いいたします。回収BOXは無いので、宿に持ち帰って処分します。
23	カメラ・ビデオ	適数	△	予備電池、充電装置も忘れずに。旅館内で充電できます
24	熊除け鈴・笛	各1	○	北海道の山歩きにおいては携行必須となっています。
25	食材(朝・夕食を自炊する場合)、登山2日間の昼食、行動食、飲み物、嗜好品(アルコール等)	適数	○	五色温泉旅館に宿泊の場合、周辺にコンビニやスーパーはありません。滞在中の朝食・夕食(1日目)、登山中の昼食、アルコール類等のお飲み物は事前に購入してきて下さい。自動販売機、冷蔵庫は有ります。 ※宿が確定後、ご参加者には改めてご案内します

○=必要なもの △=あると便利なもの ※あくまでご参考にしてください